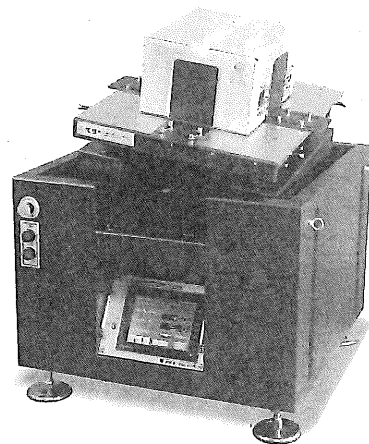


輸送時の傾斜再現

アイデックス、包装試験機

【立川】アイデックス(東京都八王子市山下美紀社長)は、輸送時の振動を再現する試験向けに、傾斜した状態で被試験物にX、Y、Zの各軸の振動負荷をかけられる輸送包装試験機「BF-50IT」を開発した。2025年1月20日をめどに市場投入する。3段階の傾斜角度が設定でき、最大傾斜角度は15度。トラック輸送などで、荷物が受ける負荷をより実走行に近い状態で再現できる。

被試験物を置く加振テーブル下の四隅に「ベローズシリンダー」を配置。同シリンダーが上下し、加振テーブルを傾斜させる。また、同テーブルの傾きを制御する三つのモードを



輸送包装試験機「BF-50IT」のプロトタイプ

3段階で角度設定

消費税抜きの価格はパッケージメーカー向けに初年度10台の販売する。主に段ボールや

搭載した。加震テーブルのサイズは550mm×660mmで、最大搭載重量は50kg。

再生

実際の道路は排水への考慮やカーブを安全に走行できるように、勾配が付けられていることが多い。傾斜を加えた試験では水平時に比べて、被試験物に短時間より多くの負荷をかけるという。

日本精工とアイデックスでは輸送手段が多様化していることから鉄道や船舶、航空機、飛行ロボット(ドローン)で製品を輸送している企業などにも提案する。23日に東京ビッグサイト(東京都江東区)で開幕する「TOKYO PACK2024」に、同試験機のプロトタイプを出展する。

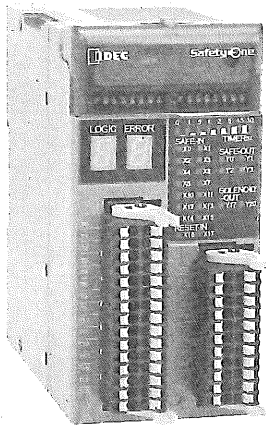
再生医療の洗浄工程に、再生医療の再生医療製3Dミニ肝臓産性・品質向上により、サイ

日本精工は

手軽な安全制御機器発売

IDEC、プログラム不要

IDECは最大18の模な機器点数の安全装置の制御に適用して、プログラミング不要で実現する制御機器「FS1B」を7日に発売する。比較的小規模な機器などでの活用を見込む。



価格は消費税抜きで9万5400円。まずは日本で発売し、今後は海外展開も見据える。同機器は、非常停止ボタンや安全スイッチなど安全機器からの入力信号を確認して、出力側の機器を稼働する。セーフティコントローラーと呼ばれる新製品では部分停止セーフティコントローラー「FS1B」

制御やモード切り替えなど、国際安全規格取得済みの24の回路構成を標準搭載したことで、入出力点数に合わせ、論理回路を組む手間を不要とした。ウェブ上から各回路構成の動作も確認できる。安全機器ごとに安全リレーモジュールを使用すると配線工数がかかりコスト高となるため、プログラム可能な制御機器でまとめて制御することが多い。ただ安全機器が20点以下の小規模なシステムでは、プログラミングが必要ないことが負担となっていた。

JIMTOF、出展最多

来月5日開幕

日本工作機械工業会(日工会)と東京ビッグサイト(東京都江東区、前田信弘社長)は2日、都内で会見を開き、11月5日に東京ビッグサイト(東京都江東区)で開幕する第32回日本国際工作機械見本市(JIMTOF2024)の出展者数が9月末時点で過去最多の1262社、小間数が5743小間になったと発表した。海外勢はアジアや欧米など19カ国・地域から230社が出展する。来場者